

「花ももの里」活性化事業 (大石花ももの里実行委員会)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

- 昭和 50 年代から大石地区の各戸に植えられてきた花ももを名物にしようと、住民有志で実行委員会を立ち上げ、国道沿線に花ももの植栽を進めてきました。
- 現在では植えた花ももは 1,500 本を越え、見頃の 5 月には地域をあげて「花ももまつり」を開催しています。また、花ももの実や葉などを活用した特産品の開発・販売にも力を入れています。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

- 大石区の幹線道路である国道 299 号と町道八郡 2 号線の一部に花ももの植栽花壇への花植えを行うとともに、草刈り、ごみ拾い、パトロール等の維持管理を継続的に実施
- 「花ももまつり」などのイベントの開催
- 花ももケーキ、花ももスパークリングワイン、花もも石鹸などのオリジナル商品の開発・販売

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H19～21	花ももの里事業	花ももの植栽と花壇整備、草刈り、ごみ拾い、小規模な公園の整備等	1,621 千円
H22	「花ももの里」活性化事業	公園へののぼり旗設置、小イベントの開催、特産品の試作	349 千円
H23	「花ももの里」活性化事業	「第 1 回花ももまつり」の開催、特産品のモニタリング、ロゴマーク制作	737 千円

最近の活動内容

- 「花ももまつり」(第 2 回～第 4 回) の開催
- 国道 299 号沿いの植栽活動、花壇の管理、美化活動
- 現在 3 種の「花ももオリジナル商品」を販売し、その収益を「花ももまつり」などの会の活動費に充てている。また、新商品の開発をしてみたいという意見も出てきたり、イベントだけでなく「まちの駅」等に常設されるなど販路も拡大している。「花ももケーキ」においては、26 年度は 1,500 個近く販売する予定



【花壇の整備】

取組の効果

- 「花ももの里」としての知名度が広がりをみせていて、「花ももまつり」への来客数も年々増えている。
- 会員も大石地区外からの入会も徐々に増えている。
- 国道 299 号を中心に植えた花ももの数は 1,500 本を超えており、美しい景観を創り出すことはもとより集落の一体感を高めている。
- 花ももは景観だけでなく、花・実（ケーキ）、実（スパークリングワイン）、葉（石鹸）をそれぞれオリジナル商品に活用するなど、一石二鳥の効果を生み出している。



【花ももまつり】

課題、今後の事業展開など

- 「花ももオリジナル商品」の広域での販路拡大を図りたい。
- 地元の子供達に活動に参加してもらう事により、郷土愛を育み、後継者を確保・育成したい。
- 「花もも」と言えば「さくほの大石」と誰もが思い浮かべるような地域を目指して地道な活動を続けていきたい。

団体名	大石花ももの里実行委員会(佐久穂町)
連絡先	代表 島崎 規子 TEL 0267-88-3290